

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	309,000,000株	2020年12月期	309,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	3株	2020年12月期	3株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	308,999,997株	2020年12月期3Q	308,999,997株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが本資料の発表日現在で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいるため、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、当社及び当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場動向、為替レート等に関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご承知おき下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書	7
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	8
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、お客様の嗜好・ニーズを捉えた上質でユニークな商品を提案し、お客様の生活に豊かさをお届けするという考えのもと、ブランド強化や新規需要の創造に注力したほか、品質の向上に取り組みました。また、各エリアにおいて収益力の強化にも取り組みました。

当第3四半期連結会計期間には、日本及びアジアパシフィックで新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染者数拡大に伴う制限強化の継続や、日本及び欧州北部での天候不順等の外部環境悪化の影響を受けましたが、引き続き全セグメントにおいて、コアブランドへの集中活動、コスト削減活動及び販促広告費の効率化を継続し、成長戦略を推進しました。これらの結果、当第3四半期連結累計期間は、売上収益、営業利益ともに前年を上回る成長を継続し、主要市場において、市場シェアを拡大しました。

当第3四半期連結累計期間（2021年1月1日～9月30日）の連結売上収益は9,418億円（前年同期比6.3%増）、連結営業利益は1,003億円（前年同期比29.8%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は594億円（前年同期比25.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

[日本事業]

緊急事態宣言の断続的な発令及び延長により人の動きが制限されたことや、8月中旬以降の天候不順の影響により、清涼飲料市場（当社推定）は前年を下回りましたが、当社販売数量は、水・コーヒー・無糖茶カテゴリーを中心にコアブランド強化に取り組み、新商品発売やマーケティング活動が貢献した結果、前年同期を上回り、市場シェアを拡大しました。

「サントリー天然水」は、大容量需要増で大きく伸長した前年同期を上回り、ブランド全体の販売数量は前年同期比増となりました。「サントリー天然水 スパークリング」シリーズは、6月に新発売した「THE STRONG」が好調を維持し、大きく伸長しました。「BOSS」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を上回りました。3月にリニューアルした「クラフトボス」コーヒーシリーズが伸長したことに加え、8月に新発売した「抹茶ラテ」が大きく販売数量の増加に寄与しました。無糖茶カテゴリーでは、「伊右衛門」は、ブランド全体の販売数量が前年同期を大きく上回りました。2月新発売の「伊右衛門 濃い味」や、4月に新発売した「伊右衛門 京都ブレンド」が好調を維持し、販売数量の増加に貢献しました。

収益面では、チャンネルミックスの変化が引き続きマイナスに影響しましたが、小容量（500ml PET）サイズの伸長により商品構成は改善し、加えて、コスト削減活動、販促広告費の効率化への継続的な取組みが大きく寄与しました。

これらの結果、日本事業の売上収益は4,746億円（前年同期比1.5%減）、セグメント利益は361億円（前年同期比21.9%増）となりました。

[アジアパシフィック事業]

アジアでは、年初より一部地域で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に伴い断続的に人の動きが制限された影響を受けたことに加え、特に当第3四半期連結会計期間は、ベトナムにおけるロックダウンやタイにおける制限強化の影響を受けましたが、当社グループの清涼飲料事業は、コアブランドへの活動集中が貢献し、ベトナム及びタイの清涼飲料市場で当社グループのシェアを拡大しました。ブランド別には、ベトナムでは、特にエナジードリンク「Sting」、茶飲料「TEA+」が伸長し、タイでは低糖製品を含め「Pepsi」が好調に推移しました。健康食品事業は、マーケティング活動強化に注力した結果、「BRAND'S Essence of Chicken」の販売数量が前年同期を上回って推移しました。

オセアニアでは、当第3四半期連結会計期間にロックダウンの影響を受けた期間もありましたが、引き続き力強い回復基調を維持しました。主力ブランドであるエナジードリンク「V」が、マーケティング活動強化により大きく伸長したことにより、エナジーカテゴリーを牽引し、市場シェアを拡大しました。

収益面では、売上増加及び商品構成の改善に加え、コスト削減活動が寄与しました。

これらの結果、アジアパシフィック事業の売上収益は2,150億円（前年同期比11.4%増）、セグメント利益は308億円（前年同期比21.1%増）となりました。

[欧州事業]

欧州では、清涼飲料市場は、当第3四半期連結会計期間に欧州北部における天候不順の影響を受けましたが、当第3四半期連結累計期間では、引き続き回復基調を維持しています。

フランスでは、8月に天候不順の影響を受けましたが、好調な家庭用に加えて、業務用も制限緩和や夜間外出規制の撤廃により清涼飲料市場が回復し、主力ブランド「Orangina」、「Oasis」及び、「Schweppes」の販売数量が前年同期を上回り、シェアを拡大しました。英国では、ワクチン接種の進展により、市場の回復が継続し、当社販売数量も第2四半期連結会計期間に引き続き、当第3四半期連結会計期間も前年同期を大きく上回りました。主力ブランド「Lucozade」及び「Ribena」の販売数量が前年同期を大きく上回ったことに加え、「Lucozade Sport」が、スポーツイベントや屋外アクティビティ再開に伴い力強く伸長しました。スペインでは、家庭用が堅調であることに加え、制限緩和を受けて業務用市場も着実に回復していることが寄与し、主力ブランド「Schweppes」の販売数量が前年同期を大きく上回りました。

収益面では、売上増加及び販促広告費の効率化に加え、コスト削減活動が寄与しました。

これらの結果、欧州事業の売上収益は1,779億円（前年同期比19.4%増）、セグメント利益は322億円（前年同期比32.6%増）となりました。

[米州事業]

清涼飲料市場は、家庭用が好調を維持していることに加え、業務用の回復基調が本格化しています。当社グループの事業は、主力炭酸ブランドの更なる販売強化に取り組むとともに、水やコーヒー飲料等、伸長している非炭酸カテゴリーにも注力した結果、市場シェアを維持し、売上は前年同期を大きく上回りました。

収益面では、売上増加が大きく寄与しました。

これらの結果、米州事業の売上収益は742億円（前年同期比18.7%増）、セグメント利益は93億円（前年同期比56.1%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、売上債権及びその他の債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ677億円増加して1兆6,420億円となりました。

負債は、仕入債務及びその他の債務の増加等により前連結会計年度末に比べ75億円増加して7,222億円となりました。

資本合計は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ602億円増加して9,198億円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ10億円減少し、1,664億円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益994億円、減価償却費及び償却費524億円等があったものの、売上債権及びその他の債権の増加247億円、棚卸資産の増加89億円等により、資金の収入は前年同四半期と比べ368億円増加し、1,366億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産及び無形資産の取得による支出373億円等により、資金の支出は前年同四半期と比べ57億円減少し、385億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの減少439億円、長期借入金の返済による支出278億円等により、1,009億円の支出（前年同四半期は61億円の収入）となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の通期連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績及び、第4四半期連結会計期間の見通しを踏まえ、2021年2月9日に発表した業績予想を、以下の通り修正します。

世界的にワクチン接種が進展し、制限緩和が進みつつある一方で、原材料価格が高騰し、グローバルサプライチェーンの混乱に伴うコスト増が顕在化しています。外部環境の変化を捉えながら、引き続きコアブランドへの集中活動、コスト削減活動及び販促広告費の効率化を継続していきます。

2021年12月 通期連結業績予想の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,260,000	105,000	103,500	73,500	60,500	195.79
今回修正予想 (B)	1,266,000	117,000	115,500	79,000	65,000	210.36
増減額 (B-A)	6,000	12,000	12,000	5,500	4,500	-
増減率 (%)	0.5%	11.4%	11.6%	7.5%	7.4%	-
(ご参考) 前期実績	1,178,137	96,177	94,168	64,294	52,212	168.97

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
	百万円	百万円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	167,480	166,433
売上債権及びその他の債権	196,242	224,517
その他の金融資産	717	1,702
棚卸資産	79,260	89,931
その他の流動資産	23,496	24,073
流動資産合計	467,198	506,657
非流動資産		
有形固定資産	360,358	371,135
使用権資産	50,772	50,789
のれん	250,448	254,100
無形資産	405,175	421,302
持分法で会計処理されている投資	895	972
その他の金融資産	14,513	14,763
繰延税金資産	15,465	15,359
その他の非流動資産	9,423	6,908
非流動資産合計	1,107,052	1,135,331
資産合計	1,574,251	1,641,989

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
	百万円	百万円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	83,401	38,094
仕入債務及びその他の債務	308,381	359,279
その他の金融負債	33,542	29,301
未払法人所得税等	14,628	17,428
引当金	1,586	1,014
その他の流動負債	4,986	7,720
流動負債合計	446,526	452,838
非流動負債		
社債及び借入金	120,292	113,916
その他の金融負債	52,867	53,102
退職給付に係る負債	15,073	15,699
引当金	2,287	2,291
繰延税金負債	71,695	79,082
その他の非流動負債	5,952	5,255
非流動負債合計	268,168	269,349
負債合計	714,694	722,187
資本		
資本金	168,384	168,384
資本剰余金	182,414	182,380
利益剰余金	492,451	527,744
自己株式	△0	△0
その他の資本の構成要素	△61,495	△39,330
親会社の所有者に帰属する持分合計	781,755	839,178
非支配持分	77,801	80,622
資本合計	859,556	919,801
負債及び資本合計	1,574,251	1,641,989

(2) 要約四半期連結損益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
売上収益	886,199	941,821
売上原価	△519,759	△548,008
売上総利益	366,439	393,812
販売費及び一般管理費	△287,596	△292,367
持分法による投資損益	△91	64
その他の収益	2,730	1,561
その他の費用	△4,180	△2,741
営業利益	77,301	100,329
金融収益	729	612
金融費用	△2,090	△1,495
税引前四半期利益	75,939	99,446
法人所得税費用	△19,594	△29,192
四半期利益	56,345	70,253
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	47,267	59,408
非支配持分	9,077	10,845
四半期利益	56,345	70,253
1株当たり四半期利益(円)	152.97	192.26

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
四半期利益	56,345	70,253
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
金融資産の公正価値の変動	△1,199	250
確定給付制度の再測定	20	△147
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,179	102
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△16,061	23,452
キャッシュ・フロー・ヘッジの公正価値の変動	△294	1,376
持分法投資に係る包括利益の変動	△51	48
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△16,408	24,877
税引後その他の包括利益	△17,587	24,979
四半期包括利益	38,757	95,233
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	33,437	81,559
非支配持分	5,320	13,674
四半期包括利益	38,757	95,233

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年1月1日	168,384	182,349	464,705	△0	△58,870	756,568	80,997	837,565
四半期利益			47,267			47,267	9,077	56,345
その他の包括利益					△13,830	△13,830	△3,757	△17,587
四半期包括利益合計	—	—	47,267	—	△13,830	33,437	5,320	38,757
配当金			△24,101			△24,101	△9,348	△33,450
非支配持分との取引 利益剰余金への振替		82				82	△56	25
			△7		7	—		—
所有者との取引額合計	—	82	△24,109	—	7	△24,019	△9,404	△33,424
2020年9月30日	168,384	182,431	487,864	△0	△72,693	765,985	76,912	842,897

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の 資本の 構成要素	合計	非支配持分	資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年1月1日	168,384	182,414	492,451	△0	△61,495	781,755	77,801	859,556
四半期利益			59,408			59,408	10,845	70,253
その他の包括利益					22,151	22,151	2,828	24,979
四半期包括利益合計	—	—	59,408	—	22,151	81,559	13,674	95,233
配当金			△24,101			△24,101	△10,878	△34,980
非支配持分との取引 利益剰余金への振替		△34				△34	25	△8
			△13		13	—		—
所有者との取引額合計	—	△34	△24,115	—	13	△24,136	△10,853	△34,989
2021年9月30日	168,384	182,380	527,744	△0	△39,330	839,178	80,622	919,801

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	75,939	99,446
減価償却費及び償却費	52,942	52,359
減損損失及び減損損失戻入(△は益)	192	293
受取利息及び受取配当金	△720	△337
支払利息	1,568	1,429
持分法による投資損益(△は益)	91	△64
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,085	△8,894
売上債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△25,978	△24,667
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	17,889	38,773
その他	4,885	△350
小計	123,726	157,987
利息及び配当金の受取額	825	314
利息の支払額	△1,826	△1,739
法人所得税の支払額	△22,933	△19,929
営業活動によるキャッシュ・フロー	99,791	136,633
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産及び無形資産の取得による支出	△44,938	△37,296
有形固定資産及び無形資産の売却による収入	244	549
事業譲受による支出	—	△2,196
その他	526	490
投資活動によるキャッシュ・フロー	△44,167	△38,453
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	77,483	△43,902
長期借入れによる収入	30,000	11,188
長期借入金の返済による支出	△57,194	△27,820
社債の発行による収入	—	19,927
社債の償還による支出	—	△15,000
リース負債の返済による支出	△10,098	△9,964
配当金の支払額	△24,101	△24,101
非支配持分への配当金の支払額	△10,006	△11,236
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,082	△100,910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	61,706	△2,730
現金及び現金同等物の期首残高	143,564	167,480
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△3,329	1,682
現金及び現金同等物の四半期末残高	201,942	166,433

- (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。